

水産物部初市の入荷数量

中央卸売市場
令和2年1月5日

1. 入荷予定数量(豊洲市場) *下段()は全市場入荷予定数量

年月日	令和2年1月5日 日曜(A)	平成31年1月5日 土曜(B)	前年比 A/B
入荷数量	927.2 (977.1) トン	960.7 (1,011.0) トン	96.5 (96.6) %

2. 主要品目の入荷予定数量(豊洲市場)

品目	入荷数量(トン)		
	令和2年 1月5日(A)	平成31年 1月5日(B)	前年比 A/B(%)
あじ	8.7	10.5	82.9
さば	5.8	7.9	73.4
いわし	8.7	6.7	129.9
するめいか	8.4	13.2	63.6
はまち	13.0	11.7	111.1
かき(むき)	5.6	4.8	117.7
冷凍めばち	40.1	46.3	86.5

3. 概況

本年初市の全市場の入荷予定数量は、前年比3.4パーセント減の977.1トンであった。豊洲市場の鮮魚類の入荷は、前年と比べて0.8パーセント減の188.1トンで、相場は前年と比べてしっかり。品目別では、アジが小安い、サバとイワシが横ばい、スルメイカとカツオ、ブリが堅調、メジが軟調。

生鮮マグロ類の入荷は236本で前年(181本)より増加した。今年の最高価格は青森県大間産・生鮮マグロ(276.0kg)がkgあたり700,000円だった。冷凍マグロの入荷は1,081本で昨年(1,114本)より減少した。

国内マグロは前年に続いて青森県大間産の天然物などが買い競われた。前年と比べて、天然物は72本と潤沢で、4-5割下落。養殖物は47本と1.6倍に増加し、堅調。輸入マグロはノースカロライナ産の天然物が5年ぶりに入荷し、高値を付けた。養殖物は前年と比べて、メキシコ産が50本と1.5倍に増加し、軟調。

【連絡先】

<上記内容に関すること>
中央卸売市場 豊洲市場水産農産品課 水産品担当 03-3520-8261

<ホームページに関すること>
中央卸売市場 総務課 広報担当 03-5320-5720